

大規模広域防災拠点整備について

奈良県大規模広域防災拠点の整備

1 整備の目的

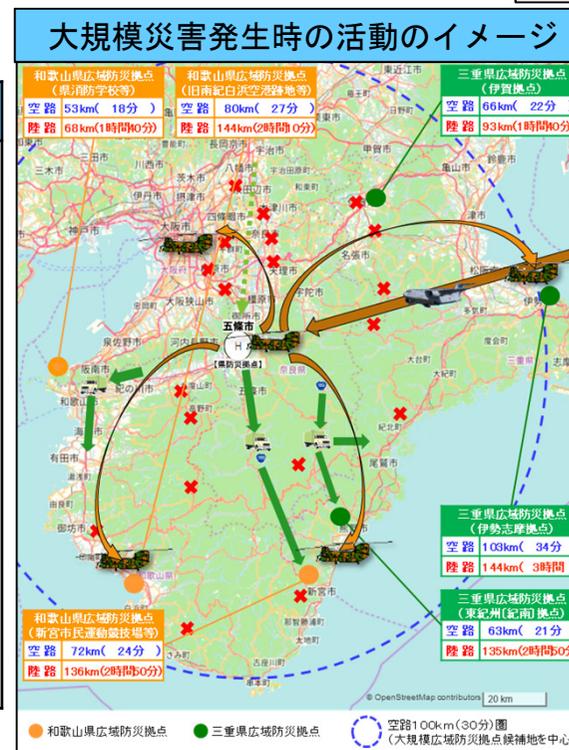
南海トラフ地震等の大規模災害を想定した本県の地域特性を踏まえた、自衛隊輸送機(C-2輸送機)が離発着できる2,000m級滑走路を備えた大規模広域防災拠点を五條市内に整備。

2 紀伊半島防災のための大規模広域防災拠点の具体的な活動

- ・ 孤立地域の支援(空輸による物資搬入、応援部隊派遣)
- ・ 被災者の捜索活動(消防、警察、自衛隊等による空からの捜索)
- ・ 被災者の救助(空輸による奈良県内病院への搬送・収容)
- ・ 支援物資の仕分けと輸送等後方支援(需要地への空輸及び陸送)

3 整備方針

M8~M9クラスの地震が、30年以内に、70%~80%の確率で発生すると予想されていることから、拠点整備においては、早期に防災機能発揮ができるように、段階的に整備を進める。また、財源確保として、「緊急防災・減災事業債」の延長及び本事業への適用について国に要望。



段階的整備

	1期	2期	3期
ステージ	広域防災拠点	600m滑走路を有する大規模広域防災拠点	2000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点
機能	一定の機能 (応援要員受入機能、空輸機能など)	複数の回転翼機の同時稼働が可能	回転翼機に加え、大量の物資人員を輸送可能な固定翼機の活用が可能
イメージ	<p>○場内土工事により早期に整備可能な平場を確保</p> <p>広域防災拠点</p>	<p>○1期整備を中心に造成範囲を拡大し、順次防災機能を充実</p> <p>大規模広域防災拠点 (600m滑走路併設)</p>	<p>○2期整備を中心に造成範囲を拡大し、2000m級滑走路を併設</p> <p>大規模広域防災拠点 (2000m級滑走路併設)</p>

○令和2年度4月に大規模広域防災拠点整備課を新設することで整備体制の充実を図り、1、2期整備を優先的に進めるための用地取得に向けた取組を開始 (※令和2年7月に地元住民を対象にした事業概要説明会の開催を予定)